

# スポーツ・レクリエーションで 元気づくりを応援!!

スポーツ・レクリエーションで  
元気づくりを応援!!



福島市開催の

## 注目 競技

### スラックライン全国大会

【会場】うつくしまふくしま体験ひろば

9/20<sup>±</sup>

スラックラインは、スキージャンプの葛西紀明選手もトレーニングに取り入れていたという体幹を鍛えるビューティースポーツです。ジャパンオープンに次ぐ大きな男女混合の大会を開催します。日本中から集まるトップアスリートの演技を目の当たりにできるチャンス!体験もできます。



### 車椅子レクダンス

【会場】あづま総合体育館

9/20<sup>±</sup>

障がいのある方、高齢者の方も車イスを活用し社交ダンスやフォークダンス、レクダンスと一緒に楽しむことができる種目です。



### スポーツテンカ

【会場】うつくしまふくしま体験ひろば

9/20<sup>±</sup>

吉本興業ワッキーさんのプロデュース「スポーツテンカ」は、相手がアンダースローで投げたボールをキャッチするスポーツです。体験からスタートして、すぐに第1回選手権大会を開催します。

当日は、ワッキーさんも来福する予定です。



▲子ども向けのプログラムも予定されています

「うつくしまふくしま体験ひろば」です。会場は、JR福島駅や福島市街なか広場、さんかく広場など。福島市A・O・Zには、福祉バレーボール「フーバ」や手作りキャンドルなど屋内体験コーナーが設置されます。コラッセふくしまでは、研究フォーラムも開催されます。「『福島の子どもたちが元気になったら、日本中の子どもが元気になれる』と、子どもに関するセッションを研究フォーラムの中心に据えました」。他にも、車椅子レクダンス、全国初の水風戦大会、新潟県の友情企画「レク式バイアスロン」など、どのプログラムにも福島を想う熱い心が詰まっています。ぜひ、この機会に自分のライフスタイルに合うレクを見つけて、元気で健やかな毎日に役立ててください。



▲大会成功に向けて意気込む佐藤さん

## 第68回 全国レクリエーション大会2014福島

平成26年9月19日(金)・20日(土)・21日(日)

メイン開催地/福島市

あづま総合運動公園、国体記念体育館、十六沼公園、アクティブシニアセンター A・O・Z(アオウゼ) 街なか広場、さんかく広場、JR福島駅東口広場、駅前歩行者天国 ほか

問い合わせ先  
特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会  
☎024-544-1886・024-572-3133 E-mail: info@recfuku2014.com

今秋、スラックラインやスポーツテンカ(左頁参照)など、「ニュースポーツをはじめ体験ひろばや研究フォーラムなど、レクリエーションにまつわるさまざまなプログラムを楽しむ」第68回全国レクリエーション大会2014福島(以下、全国レク大会)が開催されます。福島市をメイン会場に繰り広げられる大会の魅力をご紹介します。

### 福の仕上げは福島で

9月に開催される全国レク大会は、公益財団法人日本レクリエーション協会とNPO法人福島県レクリエーション協会、福島県と福島市をはじめ開催自治体などで行う実行委員会が主催します。県内18市町村の36会場で楽しめる競技は約20種。メイン会場になる福島市では、競技のほか、スポーツ・レクに関する16の公開セッションも開催されます。全国レク大会の事務局を務める佐藤喜也さんは、「日本中から集まる生涯スポーツ・レクリエーションファンの皆さまに、福島を見ていただき、お客さまとの交流を通してスポーツ・レクリエーションの素晴らしさや可能性、日々の暮らしに対する

### 多彩な種目から自分に 合うレクを見つけよう

多彩なプログラムの中でも見逃したくないのが、エコスポーツ<sup>※2</sup>「クッブ」やヒップホップダンスなどさまざまなスポーツ・レク種目が体験で

る恵みなどについて広くお伝えしたいと思っています」と話します。招致は、2010年からの大きな目標でした。掲げた矢先、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に見舞われました。「続けていいものか悩みましたが、風評被害は止まず、風化も心配でした。開催スケジュールを見ると第66回が福井県。第67回が福岡県。ならば『福の仕上げは、福島以外ないと思いました』

※1 ニュースポーツ：20世紀後半以降に考案されたり、日本に紹介されたりしたスポーツ  
※2 クッブ(kubb)：「まき」という意味。北欧発祥のスポーツ。まきを投げて相手の陣地に迫る陣取りゲーム